

令和6年度

従業者向け

保育所等訪問支援評価表

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		訪問先やご家庭でも取り入れやすい教材等を準備し、今後も検討していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	利用される方が増えているため、訪問員増員の確保が必要です。ニーズに応じて支援ができるよう、訪問員の増員を検討します。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問後に訪問員、児童発達支援管理責任者の話し合いの場を設け意見を出し合い、質の向上、改善に繋げられるようにしています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価表を基に、次年度の支援の改善等を行っていきます。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援会議にて専門性を活かし、情報共有し業務改善に努めます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	必要であれば外部評価を検討、実施します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修受講を随時行っております。事業所内については勉強会の実施を検討します。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		事業所内にて現在の様子等の意見交換、情報共有を行い、アセスメントの機会を設けています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者からのアセスメントとともに、事前に訪問先へ出向き、打合せの機会を設け児童発達支援管理責任者と担当の訪問支援員を検討しながら計画を作成しております。また担当外の訪問支援員とも共有を行い、最適な支援を検討しています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		保護者からのアセスメントとともに、事前に訪問先へ出向き、打合せの機会を設け児童発達支援管理責任者と担当の訪問支援員を検討しながら計画を作成しております。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿っているかを常に意識しながら支援を行っています。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		状況に合わせた方法、様々なケースに対応できるようアセスメントし、検討していきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容となっているかを考慮し意識しながら設定しています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿っているかを常に意識しながら支援を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前、支援後に情報共有を行い、確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援前、支援後に情報共有を行い、確認しています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針等を理解、尊重した支援となるよう心掛けています。

	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、支援の検証、改善に努めています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援終了後には訪問先と話し合いを設け、共通理解に努めています。また必要があれば保護者と記録の他、電話連絡を行い適切に見直し、判断ができる体制を整えています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者（児童発達支援管理責任者）が参画しています。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との繋がりを広げながら、連携体制を構築していきます。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学支援シートの作成を行いながら、移行支援ができるようにしています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○		随時、外部研修受講をしています。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		管理者（児童発達支援管理責任者）が部会員として参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者と記録の他、電話連絡を行える体制を整えています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		随時情報共有は行っていますが、今後検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先が保育所等訪問支援の事業を知らない場合もありますので、丁寧な説明を心掛けています。事前打合せの際にも説明を行い、ご理解いただけるよう努めています。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子さまやご家族の意向が反映できるよう丁寧にアセスメントを行い、説明できるよう心掛けています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。		○	同意は得ていますが、丁寧な説明ができるよう、今後そのような場を設けていきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて行っています。今後も相談しやすい体制作りを検討していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	訪問支援は個別対応のためそのような場は設けていませんが、必要であれば検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者が安心して相談ができる体制を整えていきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	現在検討中です。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いは周知徹底しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通ができる工夫やアイテム等を取り入れています。今後も個々のケースに応じて工夫、配慮していきます。

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先のニーズに合わせて対応ができるように支援体制を整えています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先に合わせて時間や方法を調整しています。また訪問後にはお話しができる時間を設けています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		記録を通して共有を行い、必要があれば電話連絡を行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いは周知徹底しています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先と適宜話し合いをしながら信頼関係が築けるように心がけながら助言を行っています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	策定は行っているが、訪問支援のみのご家族には周知、説明が不十分である。今後、周知説明を行ってきたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全に配慮し支援を行ってきたが、安全計画 についての家族への周知、説明が不十分だった ので、今後周知説明を行ってきたい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは事業所内で共有し、検討、再発防止に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内では悉皆研修を行い、外部の虐待研修受講の機会を設けています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	策定は行っているが、訪問支援のみのご家族には周知、説明が不十分である。今後、周知説明を行っていきます。